

共同運営部門：相談支援室・がん相談支援センター

—関係部署—

がん相談支援センター
看護部
医療マネジメント課 相談支援室

—概要—

当部門には、「がん相談支援センター」と「相談支援室」という二つの役割がある。「がん相談支援センター」は、がん患者や家族が、がんに関する不安、悩みについて無料で面談相談や電話相談ができる「がんの相談窓口」である。当院の患者、家族のほか、地域住民はだれでも、どんな悩みでも利用していただける。治療など病状的な相談について助言提案ができる「看護師」、日常生活を聞いて必要なサービスを案内、手続き支援する「MSW」が相談を受けている。内容に応じて院内の認定、専門看護師、その他専門職、地域の支援機関と連携しながら支援をしている。「相談支援室」は、がん以外の疾患について同様の支援を行う。

2018年度相談件数は1,336件(図1)、疾患内訳は「がん」1,166件、「がん以外・不明」788件であった(図2)。がんの部位は「乳房」が一番多く、「肺」、「血液」と続いた(図3)。

相談内容は、「不安」「治療」「介護・看護」「医療費」など合計2,692件(図4)で、相談件数1,336件(図1)に対して約2倍であり、患者や家族は複合的な悩みを抱えていることがわかる。相談員は、患者家族に寄り添った個別支援、安心して治療に専念できる環境整備を行っている。

—実績—



図1 相談件数



図2 疾患

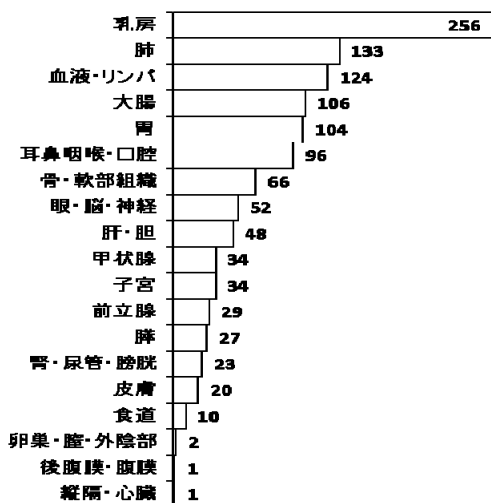


図3 がんの部位

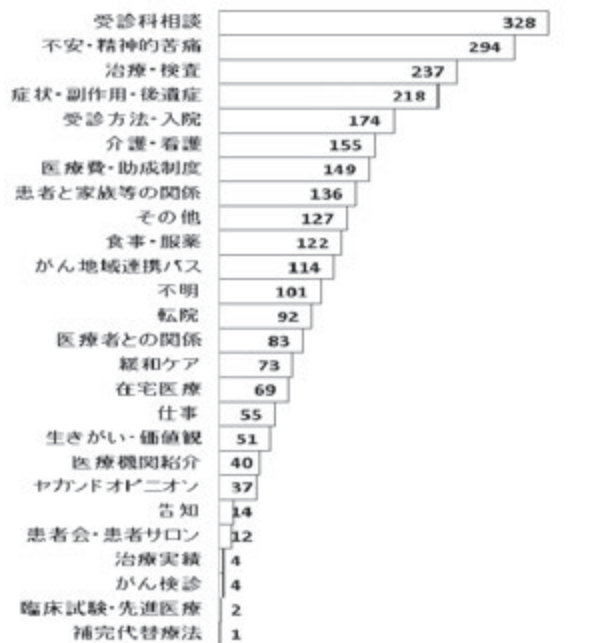


図4 相談内容 合計2,692件

【院外活動】

- ・大阪府がん診療連携協議会相談支援センター部会(2回)
大阪府の国指定と府指定のがん相談支援センターが相談の質の向上と均点化を目的に協議、研修会に参加。
- ・泉州がん診療連携協議会 がん相談支援部会(4回)
泉州二次医療圏のがん拠点病院が集結し、相談支援の方法を検討、また、地域住民向けの講演会を開催した。
- ・2018.10.20 第9回泉州がん拠点病院合同講演会
場所 市立岸和田市民病院
「がんから学んだほしい未来の作り方」
～がん経験を価値に変えて社会に生かす～
- ・2019.2.16第7回泉州がん拠点病院合同地区講演会
場所 泉大津市立病院
「高齢者にやさしいがん治療」

—今年度の成果と反省点—

治療と仕事の両立支援を行うことができた。がん相談に関しては、地域住民への周知が必要である。

—来年度への抱負—

地域住民向け講演会等の場において、がん相談支援センターの周知活動を行いたい。